

「明るいい日田」は皆様の浄財で発行されています。今後ともよろしくお願いいたします。

国保税の引き下げを迫る

大谷市議は6月議会で、国保会計の基金を活用し、少しでも国保税を引き下げよう追及。部長は「この程度の基金の保有は必要」と高すぎる国保税の引き下げを求める市民の願いを退けました。

「この指針がある」と述べたことあります。残り2億円（1人当たり約1万3千円）は活用できます。

日田市国民健康保険の特
別会計の平成30年度決算は
単年度収支が1億5千5百
万円黒字となり、基金に
2億9千万円を積み立てた
ので基金残高は6億4千万
円となりました。



今年度、県から標準保険料
率が示され一人当たり約9
000円の引上げとなりま
すが、基金から1億2千万
円を活用し保険税の引上げ
はせず税率は据え置きます。
子育て世帯の負担を軽くす
る子どもの均等割を半減の
予算1300万円も基金を
活用します。それでも5億
円の基金残高となります。

また大谷市議は、県が示す標準保険料率は県下で日田市が一番高い引上げ額となっている理由を県に求めるように指摘しました。

国民健康保険会計の財政調整基金

6億4千万円の一部活用で

光岡公民館の建て替えの考えは

光岡公民館は37年前に建設されましたが、地域の人口も増加し、利用者も増えています。2階があることや利用者から古くて狭いと言った声もあることから、大谷市議は光岡公民館の建て替えについて質問しました。

緊急性を考え併せながら年次計画により、改築及び大規模改修等に取り組んでいる」と答弁。
続いて教育次長は「現在1万3千人と利用者は多い。経年の劣化はあるが公民館としての機能は有している。必要な営繕工事は行つが、現時点で大規模な改修や改築等の計画はない」と答弁。



築37年の光岡公民館

小中学校にデマンドコントローラーは必要か

大谷市議は小中学校に設置してあるこの設備が実際にはつかわれていないのか、必要なのか質問しました。
教育次長は「小中学校の自家用電気工作物の保安管理業務は委託している。電気事業法ではこの設置は義務付けられていないが、学校施設の電力料金や年間の最大事業電力値（デマンド値）で決まる。これを抑えることが重要で、電力使用量を常時監視し、設定目標を超えたとき警

告音で知らせ不要な電気の使用を抑制する効果があり、監視装置の設置が必要と考えた。平成21年度から普通教室に空調機を設置したので、デマンド監視装置の設置を入札条件としている」と答弁しました。
市民から「設置していても実際暑い時に警報が鳴ったからと言って子どもたちが学習している教室の電灯や空調設備の電源を切ることが出来るのか疑問。無駄遣いではないか」という声も。